

平成30年度 第1回「三条市勤労青少年ホーム運営審議会」会議録

平成30年11月20日調製

1 日 時	平成30年10月29日(月) 午後2時開会
2 場 所	三条市勤労青少年ホーム 音楽室兼集会室
3 出席委員	小林会長及び広野、中嶋、熊谷、泉、坂田、山田、川上の各委員
4 欠席委員	高橋(知)、中川、高橋(秀)の各委員
5 説明のための出席者	佐藤館長、佐藤事務長、諸橋主任
6 所管課	片野商工課長、五十嵐主任
7 傍聴者	なし
8 報道機関	なし
9 議事内容	(1) 副会長の互選について (2) 平成30年度事業計画及び実施状況について (3) その他
10 会議の経過及びその結果	
小林会長	これより今年度第1回の運営審議会を開会します。本日は第1回目ご案内をしたところお集まりいただきましてありがとうございます。年度始まって第1回目ということと何人か委員が代わられたということもあるので最初に自己紹介をお願いします。
各委員 事務局	自己紹介 自己紹介
佐藤館長	きょうはご苦労様です。新潟県労働者福祉協議会がここ勤労青少年ホームの指定管理をさせていただいて5年間の最終年度となります。あらためて公募にエントリーしている今は段階です。私は、県央地区労福協の事務局長をやっている関係からソレイユの館長という立場で受けさせていただいています。 きょうお集まりの皆さんから今後もいろんな形で忌憚のないご意見を伺いながら運営に生かしてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。
片野商工課長	三条市経済部商工課長を務めています片野と申します。本日は、ご多用の中、第1回の運営審議会にお集まりいただき御礼申し上げます。今ほど事務局のほうから話がありました通り、この勤労青少年ホームは指定管理施設ということで、新潟県労働者福祉協議会様から直近で平成26年度から5年間という指定管理の最終年度に入っているところであります。お陰さまでこの5年間の間、登録者数、イベント事業の参加者数、また、施設そのものの利用者数いずれも伸びているという

	<p>ことで大変大きな成果を上げていただいています。本年は最終年ということで残り半年弱になりますが、しっかりと我々含めて取り組んでまいりたいと思っております。また、この運営審議会は講座・サークル等の活動状況等を情報共有した中で、忌憚のないご意見を頂戴し、必要な見直しや新しい取り組みなど参考というより実際に取り入れながらこれまで施設の運営に生かさせていただいたところでありますので、引き続きご理解、ご協力をお願いします。</p>
小林会長	<p>ありがとうございました。議題に入る前に本日の会議の出席者は8名、欠席者3名で、会議は成立しているということになります。</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>最初に議題（1）の、副会長の互選ということで、選任について提案させていただきたいと思えます。</p> <p>あらかじめ了承を得ているということですが、三条金物卸商協同組合さんから選出されている広野さんをお願いしたいと思えますが、よろしいでしょうか。（拍手）</p>
	<p>広野委員副会長席に移動。</p>
小林会長	<p>それでは進めます。議題の（2）平成30年度事業計画及び実施状況について、佐藤事務長。</p>
佐藤事務長	<p>資料2ページから14ページまで説明。</p>
小林会長	<p>ありがとうございました。今ほどの説明に対しご意見を伺うと言ってもなかなか手が上がらないと思えますので、先に僕の方から質問をさせていただきます。それから順番をお願いします。</p> <p>11ページのソレイユ運営協力委員会のメンバーは若い人が多いのでしょうか。また、全くの有志なのかどこから集まってくるのか構成を教えてください。</p>
佐藤事務長	<p>それぞれの講座・サークルの中から代表を選んでいただく。その代表が集まって委員会を構成しています。基本的に一つの講座・サークルから一人ずつとなります。年齢層は20代から40代くらいまででしょうか。例えば太極拳のように40歳以下が一人もいない講座は、年配の方が代表となっておりますし、逆に花嫁修行のように若い女性ばかりのところは20代の方が代表となっています。年代的には全年代が集まっているという感じです。</p>
小林会長	<p>講座の受講生の代表が集まるということですか。</p>
佐藤事務長	<p>そういうことです。</p>

広野副会長	私は今回初めてということもありまして、正直なところ私自身利用したことがなくて状況がわからない中で、例えば啓発活動ですが、特に力を入れているものとしてどのあたりか聞かせてください。
佐藤事務長	そうですね。今年度に限って言えば、小学生からも積極的に使ってもらいたいということが一つの目的になっていまして、大人になれば使用できないというイメージがあると思いますが、子どもでも全年代から使ってもらおう施設というのをアピールしております。そういう意味でスポーツ開放デーとか夏休み子ども映画館ということで力を入れてやってきております。その他ではSNSが若者に浸透していることから発信する回数を増やしながらかやっているつもりです。
小林会長	特に Facebook などはこの数カ月頻繁に上がっているなあという印象はありますが、一方で Facebook そのものはおっさんしかやってないので、ツイッターとかインスタグラムのほうへ意識してシフトするのも一つかなと思います。
佐藤事務長	ツイッターのフォロワー数は90人ということであまり多くなくて。
広野副会長	インスタグラムはやったことないですが、注目されているようですね。写真を上げるだけでいいのかどうか。
小林会長	インスタってどうですか。一つ上げると両方にいくような、労力をかけずに一応はできるのでしょうけど、フォローしてくれる人数の問題もありますね。
佐藤事務長	ハッシュタグをつけると拡散するというイメージがありますが、その辺のやりかたなど詳しいことはわからないので、もうちょっと勉強したいと思っています。
小林会長	優秀な女性スタッフもいるみたいですので、ぜひ検討してみてください。
中嶋委員	5ページの目標設定ですが、60歳以上の目標人数は前から入っていましたか。
佐藤事務長	60歳以上の目標は一応人数としては入れております。
中嶋委員	今までは目標に入らなくて今回は入っていたということですか。
佐藤事務長	目標として入れてはいますが、期待値としての数値ではなくて100人程度という感じで入れてあります。
中嶋委員	施設の話と少し離れるのですが、同じ5ページで、15歳以上40歳未満で466人減ったとありますが、これは就職や進学で減ったということですか。
佐藤事務長	この数字は単純に人口減です。

中嶋委員	例えば、進学などで住民票を動かすと人口減になりますよね。
佐藤事務長	確かに住民票を移せば人口は減ることになります。
中嶋委員	でも、大学生は移さないほうが多いかな。
佐藤事務長	移していない方が多いと思います。
坂田委員	講座がいろいろありますが、どういう人が教えているのかなと前から疑問でした。これは一人の方がずっとやっておられるのですか。
佐藤事務長	そうですね。年間通して一人の方が教えています。ただ、中国語とヨガに関しては団体の派遣講師ですので、年度内でも変わることもあります。
坂田委員	講師の選定はどのようなふうにして決まるのですか。
佐藤事務長	はっきり言って、今までのつながりの中で決めています。
坂田委員	例えば、この間から話が出ている花嫁修行はどのような方が教えていらっしゃるのですか。
佐藤事務長	この講座は料理の基本を教えてもらうことがメインのことから、家庭料理の先生にお願いしています。ただ花嫁修行というからには料理ばかりでなく、カラーセラピストなど知り合いの講師を呼んで行うこともあります。
坂田委員	ミセスはOKなのですか。
佐藤事務長	それは構わないと思います。
坂田委員	であれば、ネーミングが時代に合わないというか、ズバリ過ぎるような気がします。
小林会長	いろんな角度からの見方がありますね。
坂田委員	この講座の副題にあるような「おもてなし」というほうが、幅が広がっていいような気がします。変な話、花嫁修行というとお嫁に行かないといけないという色が強く出ているような感じがするので、幅広い年齢層の利用を考えると花嫁修行の形にこだわらなくても、料理を中心としたおもてなし講座とすれば楽しそうな感じがしますけどね。
小林会長	とは言いながらも、10人の登録があるってことは、このネーミングでひっかけていることもありますね。
坂田委員	それはリピーターが続いているんでしょうか。
佐藤事務長	そうですね。ここを利用している人たちの要望です。
坂田委員	本来の趣旨からいうとそこだけで楽しく終わっているよりも、幅広く受け入れたらどうかなということと、10人という定員はどこから出てくるものなのですか。調理室の関係ですか。
佐藤事務長	定員は先生の希望で、あまり大勢になると1人1人丁寧に見られな

	<p>いとという限界があって設定しています。私も見学したことがありまして、例えば、魚のさばき方などほとんど個人指導になります。料理講座と違いまして時には手取り足取り指導されていらっしゃると思います。これは覚えておいた方がいいものと受講者が覚えたいという希望を受けながらやっていますので、料理教室みたいに一斉に何かやりましょうということにはならないので、人数を制限しています。</p>
坂田委員	<p>それぞれの講座の先生というのは誰もが自由に見ることができるのですか。例えば中国語はどんな先生が教えているのか何を見ればいいのですか。</p>
佐藤事務長	<p>1回だけ見学ができます。講師はホームページや年1回の広報あるいはソレイユだよりなどに載せています。</p>
川上委員	<p>今お話を聞いていて事務局の方は一生懸命に人数を増やそうと努力していると感じておりますが、6ページの備考欄について説明がありましたけれど、広報さんじょうでは「どなたでも」というフレーズは載せられないんだというお話がありました。いかにも役所っぽいなあという感じを受けました。基本的にこの施設というのは三条市民から大いに利用していただきたいというところなのに、市がそういうことを言うのは不思議だなと思いました。勤労青少年ホームは当初から年齢制限があったところですが、その中でフェイスブックや燕三条FMでは当然そういう言い方はしていると思います。そう考えると市がそこまでこだわらなくてもいいのではないかと。例えば男女・年齢問わずとか言い方を変えればいいのかということになりました。</p>
佐藤事務長	<p>私どもとしては載せてほしいところですが、広報担当では、「どなたでも」ということは一般的なものでカットすると言われました。</p>
小林会長	<p>これは商工課長さんからのコメントを。</p>
片野商工課長	<p>どなたでも、という言い方じゃない代わりに、こういう言い方という感じもなかったですか。例えばさっき川上委員さんがおっしゃった年齢不問とか年齢制限なしとかもダメなんですか。</p>
佐藤事務長	<p>それも載せてもらえません。条件がある場合のみ載せてもらえるということです。</p>
片野商工課長	<p>条件がないということは一切広報しないということですか。それは個人的にも商工課としても腑に落ちないと感じますので確認はしたいと思いますが、私が最初に受け止めたのはどなたでもというのは逆にあいまいな感じで、広報するとき誰に向かって広報するのかと考えたとき、抽象的でもう少しはっきりしなさいということなのかなと聞いていましたが、いま確認すると言いかたの問題じゃなさそうです。</p>

	そこは確認したいと思いますが、そこを明記しないと勤労青少年ホームだから先入観で自分はいれないと思う人もいると思うので、戻って宿題にしたいと思います。
小林会長	この会合でもなんとなく広げていこうという方向はずっとありますからね。ぜひこのメンバーもそう思っているということを伝えてください。
佐藤事務長	ただ、広報担当としては一つでも字を削りたいのです。最近レイアウトが変わったことにお気づきでしょうか。例えば、料金という言葉は「料」しか書いていないです。他の団体の記事にもどなたでも、とか年齢不問とかそういう言葉は一切入っていないです。 条件があるところだけは載せてあります。例えば 40 歳未満とか 60 歳以上とかの条件がある場合のみ載せています。こういった条件がない場合は載せませんという回答です。
小林会長	逆に 40 歳以下に限りませんという言い方はダメでしょうか。その辺も含めてぜひお願いします。
山田委員	6 ページの喫茶サークル活動ですが、計画では毎週水曜日夜は 7 時半から 8 時半までとなっていますが、実施は 9 時までとなっていますが、実際は 9 時までやっているということでしょうか。
佐藤事務長	そうです。9 時頃には閉めて帰るという形です。
山田委員	昼間は、火・水・木とボランティアの方が頑張っているようですが、夜のほうもなかなかボランティアさんの負担もあるかと思いますが、例えば金曜の夜も開店していただいて、近年、純喫茶というものが無くなっていますので、お茶を飲みながら真面目な交流の場という貴重な場所でもあります。なんとかフライデーの夜もできればさらに利用も上がるのではないかと思います。 それから、サロンに当てはまるかどうかは別として、三条市のほうでも婚活婚活と言っていて、せっかくここに老若男女がいてコミュニケーションを図る場を提供しているわけですから、これを一つのお見合い広場的な場を設けて、異性とのコミュニケーション能力を図るためにアドバイスできるような人を置いて、ユーモアを交えた催し物をやってもいいのではないかと思います。
小林会長	なかなか尖ったご意見ですが。
佐藤事務長	まず、金曜日の態勢ですが、夜活動している人が一人くらいなので、水曜日で手一杯という状況です。昼間のほうは奥様が 9 人ほどいてローテーションできれいに回っていますが、夜は手薄なので曜日を増やすのは難しいと思います。あとはボランティアの人数が増えるかど

	うかにかかってくる。
小林会長	夜やっているとそれなりにお客さんが来ますか。
佐藤事務長	単にお客というよりは利用者ですね。バレーボールとかサークルで利用している人たちがコーヒー飲んだりとかはしています。
小林会長	それなりにニーズはあるんですね。
佐藤事務長	夜やっているとPRしたいところですが、中心的人の都合でやったりやらなかったりしていますので、広報しにくいです。 お見合いですが、なかなかニュアンス的に難しい面がありますが、こちらとしては青年たちがなるべく交流する機会を持つということで運営委員会の事業の中でやっております。例えば、バーベキューとかボウリング大会とか交流が深められるような事業です。
山田委員	独身であれば彼氏彼女を見つけようとするきっかけを求めている人がいると思うのです。そこに参加する一つの目的としてあってもいいのではないかと。
坂田委員	婚活イベントというのはここではやったことはあるのですか。
佐藤事務長	昔やった記録がありますが、最近はやっていません。
坂田委員	最近聞かなくなりましたね。3、4年前までは婚活イベントをやるということが行政的に聞かれましたが、県とか国とか積極的にやっていたような。
小林会長	民間でもやっていますからね。あえて行政に関わる必要があるかどうか。
坂田委員	じゃあけっこうあるんですかね。
佐藤事務長	実際やっています。主催が恋婚実行委員会で地域経営課がバックアップしてこのチラシを作っています。9月に収穫体験、10月にナイトパーティ、11月にランチパーティが企画されています。これだけ充実していると個人的にはいいなと思います。私どもではここまではやれないと思います。
坂田委員	三条市でやっているのですか。
佐藤事務長	三条市です。
坂田委員	はい、ありがとうございます。
泉委員	ソレイユではFacebook やソレイユだよりも一生懸命やっています。6 ページの出会い・交流のところ、書道とか茶道とか定員に対して受講人数が少ないところはどのようにやって集めるのですか。
佐藤事務長	年間を通して募集していますが、なかなか増えないです。昨年からはピラティス、ヨガ、ZUMBAについては半年で区切り2回募集している関係で広報には2回募集記事が載ります。その関係からか人数が

	<p>格段に伸びております。それから茶道月曜日が少ないですが、茶道は金曜日と同じ流派であります。両方体験する人は、大概金曜日に入ります。月曜日という日程が入りにくいのかわかりませんが、問い合わせはあっても月曜日に入ってくれないという状況がございます。あと書道は道具がいっぱいいるとか堅いイメージがあるかもしれないので、今年度から親しみがわくように「わくわく書道入門」というタイトルに替えて募集しましたが、結果的には増えていない状況です。</p> <p>そここのところは、福祉推進者の企業にPRしていただいて従業員の方から入ってもらいたいなあと考えています。</p>
小林会長	<p>ほんとに少なくなれば講座そのものをなくして整理して、また新しいものができてということを経験してきて、現在のこの講座の構成になっているのですよね。ですから無理矢理残さなくてはならない講座でなければなくなっていく講座なのかもしれない。</p>
佐藤事務長	<p>そうですね。4人以下であれば実施しないという約束をしておりますし。</p>
佐藤館長	<p>1年間を通してですとハードルが高いということもあると思いますので、短期講座を新設したりして、そういった試みもさせていただいて入りやすくしていると思っています。</p>
熊谷委員	<p>皆さんが意見を言われたように私も同じようなことを考えていましたが、コミュニケーションの場ということなんですが、私の職場ハローワークでも若い方でコミュニケーションが苦手という方が非常に多くなっているなど感じています。そういった方も引き込めるような情報発信をやっていただくのが効果的かなと考えていますし、先ほど出ました Facebook よりもインスタやツイッターのほうがいいのではないかと感じております。</p>
佐藤事務長	<p>この11月16日に、人間関係を円滑にする力～笑いとコミュニケーションという演題でナマラの高橋なんぐさんから講演してもらいますので、ぜひ皆さんに声をかけていただきまして参加いただければソレイユってこんなところだなということもわかりますし、非常にいい講演会になるかと思えます。</p>
泉委員	<p>そうですね。去年もナマラでいい講演会でした。</p>
小林会長	<p>ひとつお聞きですが、何かほかがあれば。よろしければ議題の(2)を終わりたいと思います。その他で事務局のほうから何かありましたでしょうか。</p>
佐藤事務長	<p>きょうお配りしたソレイユ祭のチラシがありますが、その日5分でも10分でもどんなものかお立ち寄りいただければありがたいなと思</p>

	います。
川上委員	このチラシにある奈々さんですが、毎年下田の地元バンドと一緒にコンサートをやっていただいておりますが、下田ふるさと祭りにもう10年近く出てもらっています。非常に歌がうまくて自分のCDも出していらっしやいます。ぜひ聴いてみられるといいんじゃないかと思いました。
佐藤事務長	もう一点、この第2回目の会議なんですが、いつも3月中下旬に設定させていただいておりましたが、皆さん年度末だと忙しいというご意見もありますので、次回は2月25日の週で調整したいと思いますでしょうか。
小林会長	よろしいのではないのでしょうか。これで本日の議題はすべて終了しました。ありがとうございました。 それ以外で事務局のほう何かありますか。
佐藤事務長	毎回同じことを言うようで恐縮ですが、今回の発言内容を会長及び館長と調整した中で会議録を作成し、ホームページにUPしたいと思いますので、よろしくお願いします。
小林会長	それでは長時間にわたりありがとうございました。以上で審議会を閉じたいと思います。皆様お疲れさまでした。
	閉会 午後3時25分